

第6回スクールミーティング意見交換内容（抜粋）

- 日時： 平成25年11月14日（木）午後4時30分～午後6時00分
- 会場： 市立田迎西小学校会議室
- 参加者： 熊本市教育委員会（崎元委員長、森委員、田口委員、廣塚教育長） 4人 及び事務局教職員17人（託麻中5人、御幸小3人、田迎小3人、田迎南小3人、田迎西小3人）
- テーマ： ①「徳・知・体」の調和のとれた子どもたちを育成するために必要なこと
②学校における現状と課題
③いじめや体罰の問題について
④部活動について

（◆：質問、○：意見、▼：要望）

No.	テーマ	項目	教職員	教育委員・事務局
1	①	学力保障 (小学校)	○小学校高学年の学級編制の基準は40人。子どもたちは教室の中に詰め込まれ、夏場は蒸し暑い中授業を受けている状況である。担任としては、健康面、学力面、安全面で配慮すべきところが多い。 ○高学年への少人数学級等の導入が難しいならば、大学生等の学習支援ボランティアの活用も考えてはどうか。 ▼ 高学年の少人数学級の実現、少人数指導加配の増員をお願いしたい。 ○今年度、特別支援学級の運営加配基準が5人から6人に引き上げられた。特別支援学級の教育の充実、特別支援教育の推進という視点から加配が必要である。	◆学力充実を図る上での課題は何か。 ○空調については、全ての学校の普通教室に空調を入れた場合、新設校の校舎建設費2校分程度の予算が必要となる。少人数学級を拡大するのか、学校を増やし児童生徒数を分散させるのか、どこに予算をかけるか考えていかなければならない。 ○県全体で最も運営加配の数が多いのは熊本市である。これからも県に加配基準の見直しを要請していく。
2		学力保障 (中学校)	○放課後に補充指導を行っているが、十分に時間が取れない。家庭学習についても、子ども自身、一人で学習する力が不足してきていると感じる。家庭との連携も難しい状況である。 ○不登校の生徒の補充学習にも取り組んでいるが、校内に余裕教室がなく苦慮している。	◆補充学習の状況はどうか。
3	①	ICT機器の活用	○ デジタルテレビ等、校内で共用しているが、各階に1台では足りない。活用を希望する学級が多く、使いたいときに使えない状況である。特別教室での活用頻度も高い。 ○デジタルテレビは、教室間を移動させることで故障も多くなる。 ○実物投影機があれば、手軽に教材や子どもが書いたノート等を全体に示すことができ、教育的効果が高いと考える。 ▼電子黒板より、むしろ、デジタルテレビ、実物投影機を配備して欲しい。デジタルテレビは学級に1台、または、各階に複数台ほしい。	◆授業では、どのような機器が必要か。また、もっとも必要な機器は何か。 ○デジタルテレビ等は校内でどれだけ活用されているか、使用一覧表を作るなどして、学校で活用実績を残しておくことも大切である。（事務局）

No.	テーマ	項目	教職員	教育委員・事務局
3	②	教職員の多忙感	○不登校の子どもの対応の仕方について、相談機関に学びに行きたいが、日々の対応に追われ、なかなか相談に行けない現状がある。 ○校内では児童理解のための情報交換会を行っており、空いた時間に関係職員同士、相談することもある。 ○SSWによる対応はとてもありがたい。課題のある子どもも安心して学校に通っている。SSWの対応により、家庭の理解も得られた。 ○学級支援員の配置は、担任にとって、とても助かっている。学級における支援員の存在は心強く、担任の心のケアにもつながっている。 ○高学年は子どもの数も多く、事務量等も増える。少人数学級の実現、学級支援員の増員が必要である。 ▼学級支援員の増員、SSW、SC等の配置等、人的支援の拡充をお願いしたい。	◆不登校の児童生徒への対応等、校内での教職員間の連携の状況を教えてほしい。 ◆学級支援員、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)等、特にどんな人材が必要なのか。 ○熊本市が5、6年を少人数学級化するには、教職員の確保だけでなく、教室も必要となる。現時点では、SCや学級支援員等を充実させて、先生方の負担を軽くしようとしているところである。
4	③	ネットを活用した いじめの現状について	○ネットを使った友達への中傷等のトラブルが増えている。学校では地道に指導をしているが、情報機器等の進歩が早く対応が追いつかないこともある。子ども、保護者に対する研修として外部に講話を依頼することもあるが、学校が求めている内容と合致しないことが多い。 ○ゲーム機自体の機能やネットにつながることに、どのような危険が潜んでいるか、子どもも保護者も知らない。子どもに安易に携帯を持たせると危険であるという実例を、早期から大人に伝えていく必要がある。	◆ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等を使いたいじめ等の事例について教えて欲しい。 ○SNSの危険性について、親になる前から教育しなければならない時代になったのではと思う。PTAでもSNSの研修に対する関心が高い。PTAにおいても、保護者啓発を考えなければならない。 ○道徳や技術家庭科で情報モラルの指導に取り組んでいるが、情報機器等の進展が早く、対応が追いついていない。今後対策を考えていきたい。(事務局)
5	④	部活動について (中学校)	○子ども、保護者から練習時間を増やしたいとの要望がある。活動が過熱しないよう、部活動担当者同士で声をかけ合い、運動部活動指針を守るよう努力している。 ○中学校では、部活動が生活指導の場となることが多いが、部活動は生活指導上、大きな役割を果たしている。 ▼部活数、部員数が多いため、全ての子どもが練習するスペースが取れない。近隣の体育施設も借りているが、全く間に合っていない。市の体育施設を優先的に使わせてほしい。	◆部活動が過熱して、先生方は多忙になっていないか。また指針は守られているか。

(◆：質問、○：意見、▼：要望)

No.	テーマ	項目	教職員	教育委員・事務局
6	④	部活動について (小学校)	○授業時数の確保、放課後の会議出席等により、部活動の指導が難しい状況がある。社会体育への移行を含め、部活動のあり方を検討する必要がある。	○現在、学校教育活動の一環として部活動を実施している。学校教育活動から移行させる際は、教育的な対応が可能かを含めて考えていかなければならない。
7	その他	施設面について	▼体育館の雨漏り、プールの老朽化、プレハブ撤去後の運動場の整地等、課題がある。対応をお願いしたい。	○確認し、対応を検討する。(事務局)
8			▼給食調理場ではアレルギー対応が求められており、設備の充実が必要である。今のところ一つのガスコンロで対応食も調理している。	○確認し、対応を検討する。(事務局)